

令和4年度燕市一般会計補正予算（第6号）の概要

議案 番号	48	資料 番号	1
企画財政課			

1. 令和4年度燕市一般会計補正予算（第6号）について

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染と物価の高騰が続く中、国の方針や対策に基づき、新型コロナウイルスワクチン追加接種に必要な予算を増額するほか、住民税非課税世帯等への電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の支給などに必要となる予算を計上します。

(1) 補正額と財源内訳

(単位：千円)

補正前の額	今回補正額	財源内訳				補正後の額
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
48,064,181	696,662	689,162	0	7,500	0	48,760,843

(2) 歳入の概要

※歳入及び歳出の概要の補正前予算額は今回補正となる科目を対象に集計してあります。

(単位：千円)

番号	科目		補正前予算額	補正額	関連歳出	
1	国庫支出金	国庫負担金	120,419	77,051	歳出3	
		国庫補助金	新型コロナウイルスワクチン接種事業費国庫補助金	712,943	256,093	歳出3
			電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費補助金	0	347,000	歳出2
			電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事務費補助金	0	9,018	歳出1、2
2	繰入金	基金繰入金	ふるさと燕応援基金繰入金 (補正後基金残高 2,263,344千円)	1,648,477	7,500	歳出4

(3) 歳出の概要

(単位：千円)

2 款 総務費							
1 項 総務管理費							
8 目 情報政策費							
番号	事業名等 担当課	事業概要	補正前予算額	補正額	財源内訳		説明資料
					特定財源	一般財源	
1	情報システム管理費 総務課	住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給に必要なシステム改修費を計上します。 ・業務システム運用等委託料 5,159千円	0	5,159	国県支出金 5,159	0	総務・社会福祉1

(単位：千円)

3 款 民生費							
3 項 生活保護費							
2 目 生活困窮者自立支援費							
番号	事業名等 担当課	事業概要	補正前予算額	補正額	財源内訳		説明資料
					特定財源	一般財源	
2	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業 社会福祉課	<p>国の物価・賃金・生活総合対策として、令和4年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり現金5万円を支給するために必要な経費を計上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 719千円 ・消耗品費 115千円 ・印刷製本費 480千円 ・通信運搬費 1,742千円 ・手数料 803千円 ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 347,000千円 	0	350,859	国県支出金 350,859	0	総務・社会福祉1

4 款 衛生費							
1 項 保健衛生費							
2 目 予防費							
番号	事業名等 担当課	事業概要	補正前予算額	補正額	財源内訳		説明資料
					特定財源	一般財源	
3	新型コロナウイルスワクチン接種事業 健康づくり課	<p>国の接種方針に基づき、新たにオミクロン株に対応したワクチン接種を実施するほか、小児（5歳～11歳）を対象とした、3回目接種に必要な予算を増額します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種従事者謝金 66,000千円 ・消耗品費 1,103千円 ・通信運搬費 7,448千円 ・手数料 176千円 ・ワクチン接種委託料 77,051千円 ・ワクチン接種コールセンター業務委託料 67,197千円 ・ワクチン集団接種運営等業務委託料 100,000千円 ・システム改修業務委託料 1,640千円 ・ワクチン接種案内文書作成業務委託料 12,529千円 	741,033	333,144	国県支出金 333,144	0	健康づくり1

(単位：千円)

7 款 商工費							
1 項 商工費							
2 目 商工振興費							
番号	事業名等 担当課	事業概要	補正前予算額	補正額	財源内訳		説明 資料
					特定財源	一般財源	
4	地場産業販路開拓事業 商工振興課	<p>感染症の影響により出展を控えていた動きが和らぎ、販路獲得に向けた取組が活発化していることから、企業活動の再開を後押しするため必要となる補助金を増額します。</p> <p>・見本市出展小間料補助金 7,500千円 (上限250千円×30件)</p> <p>〔※9月14日時点の申請状況〕 108件 14,740千円</p>	15,000	7,500	繰入金 7,500	0	-

主要事業説明資料

総務・社会福祉1

事業名		電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業	新規	補正予算額	財源内訳																
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
総合計画	戦略	活動人口増戦略		356,018	356,018																
	基本方針	支え合い・助け合い活動の活発化																			
	施策	支え合いの地域福祉		補正後予算額	特定財源の内訳 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費補助金 347,000千円 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事務費補助金 9,018千円																
補正理由		国の「物価・賃金・生活総合対策」による、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業の実施に必要な経費を計上します。		356,018																	
目的		物価高騰等の影響を受けている方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり5万円の現金を支給します。																			
事業概要		1 支給対象世帯 ① 国が示す基準日において世帯全員の令和4年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯(生活保護世帯を含む) ② ①のほか、物価高騰等の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯 2 対象世帯数 支給対象世帯① 6,900世帯 (基準日時点の非課税世帯数) 支給対象世帯② 40世帯				3 支給スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象世帯</th> <th>申請方法</th> <th>受付期間</th> <th>給付時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象世帯①</td> <td>確認書(※)の提出</td> <td>詳細が示され次第</td> <td>詳細が示され次第</td> </tr> <tr> <td>対象世帯②</td> <td>申請書の提出</td> <td>詳細が示され次第</td> <td>詳細が示され次第</td> </tr> </tbody> </table> (※)支給要件に合致していること及び支給対象者の登録口座を確認する書類				対象世帯	申請方法	受付期間	給付時期	対象世帯①	確認書(※)の提出	詳細が示され次第	詳細が示され次第	対象世帯②	申請書の提出	詳細が示され次第	詳細が示され次第
対象世帯	申請方法	受付期間	給付時期																		
対象世帯①	確認書(※)の提出	詳細が示され次第	詳細が示され次第																		
対象世帯②	申請書の提出	詳細が示され次第	詳細が示され次第																		
事業費内訳		(総務課) ・業務システム運用等委託料 5,159千円 (社会福祉課) ・時間外勤務手当 719千円 ・消耗品費 115千円 ・印刷製本費 480千円 ・通信運搬費 1,742千円 ・手数料 803千円 ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 347,000千円		期待される効果	物価高騰等の影響により、経済的支援を必要としている世帯に対して、給付金を支給することで、生活の安定が期待されます。																
				担当課	総務部 総務課、健康福祉部 社会福祉課																

主要事業説明資料

健康づくり1

事業名		新型コロナウイルスワクチン接種事業	補正予算額	財源内訳					
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
総合計画	戦略	1.定住人口増戦略	333,144	333,144					
	基本方針	(3)健やかな暮らしを支える医療福祉の充実							
	施策	①医療サービスの機能強化	補正後予算額	特定財源の内訳 ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費国庫負担金 77,051千円 ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 256,093千円					
補正理由		国の新型コロナワクチン追加接種(オミクロン株対応)実施方針に基づき接種を実施するため、必要となる予算を計上します。	1,074,177						
目的		新型コロナワクチン追加接種(オミクロン株対応)を実施し、重症化予防はもとより、感染予防、発症予防を図ります。また、小児(5~11歳)を対象とした3回目接種が開始となったことから、引き続き接種を進めます。							
事業概要		<p>【新型コロナワクチン追加接種(オミクロン株対応)について】 接種計画等については、国の方針転換等により、今後変更となる場合があります。</p> <p>①接種時期・接種対象者 集団接種または個別接種などで、10月半ばを目途に、初回接種(1・2回目接種)を完了した12歳以上の全ての方に接種を開始します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まずは、現行の4回目接種対象者(3回目接種から5カ月が経過した60歳以上や基礎疾患を有する人など)で、当該接種を未実施である人に、9月下旬から前倒しで供給される、オミクロン株対応ワクチンで接種を開始します(現在、9月下旬までに4回目接種の予約が入っている人は、国からワクチンが届き次第、従来型から、オミクロン株対応ワクチンに切り替えて接種実施します)。 その後、10月半ばを目途に、上記以外の初回接種を完了した12歳以上の全ての人に、対象範囲を拡大して接種を開始する見込みです。</p> </div> <p>②使用するワクチン ファイザー社製/モデルナ社製 ※オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチンを使用。</p> <p>③接種券について 国からワクチンが届き次第、迅速に接種を開始するため、今年6月に配布済みの『4回目接種券』で接種いただくこととしております。 なお、4回目接種済などで、上記接種券をお持ちでない人については、接種可能時期に応じて接種券をお送りします。</p> <p>④接種間隔 最終接種(2・3・4回目)完了時から、5カ月以上間隔を空ける必要があります(現在、国にて接種間隔の短縮が検討されています)。</p> <p>⑤小児(5~11歳)に対する接種 小児に対し、2回目の接種から5カ月以上経過後に追加接種(3回目)を行うことが可能となったことから、接種が可能な人へは、順次接種券をお送りし、接種開始は10月上旬ころを予定しています。</p>							
事業費内訳		・報償費 66,000千円 ・消耗品費 1,103千円 ・役務費 7,448千円 ・手数料 176千円 ・委託料 258,417千円	【委託料内訳】 ワクチン接種委託料 77,051千円 コールセンター業務委託料 67,197千円 集団接種運営業務委託料 100,000千円 システム改修業務委託料 1,640千円 案内文書作成業務委託料 12,529千円	期待される効果	新型コロナワクチン追加接種(オミクロン株対応)を実施することにより、重症化を予防、感染予防、発症予防が期待できることから、日常生活や社会経済活動の正常化を図る。				
				担当課	健康福祉部 健康づくり課				